

TSUDO I

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDO Iはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Ethereum Classic	 Arbitrum	 Mantle
中堅	 Threshold	 Waves	 DAO Maker
新規	該当なし		

このレポートはTSUDO Iの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは リサーチ担当の目線で、関連ニュースから中長期的に、いい影響がありそうな銘柄に表示しています。



有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 1/11

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。2024年1月第1週目Arbitrum、2023年11月4週目Mantleと過去の週次レポートでピックアップした銘柄が、再びランクインしています。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	上昇率 7days
#21	 Ethereum Classic	Layer 1	¥591,614,582,957	¥4,076.83	75.91倍 (ETH比)	#10	▲ 38.83%
#32	 Arbitrum	Layer 2	¥431,330,425,577	¥338.25	2.85倍 (MATIC比)	#9	▲ 18.56%
#43	 Mantle	Layer 2	¥313,379,887,578	¥116.06	3.92倍 (MATIC比)	#79	▲ 28.04%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲5.83%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

Ethereum Classic : ETC

注目ポイント：2024/1/31に予定している「Spiral」アップグレードとBTC現物ETF承認承認のニュースへの影響

ETCはEthereum Virtual Machine (EVM) との互換性を確保する大規模なアップグレード「Spiral」を予定しており、このアップグレードによりEthereumを含むEVM互換スマートコントラクトの開発や移行が大幅に容易になることが期待されています。これにより、開発者の利便性が向上し、プロジェクトの移行が促進されることで、エコシステム全体の拡大が促され、投資家の信頼が高まると期待されています。さらに、最近のBitcoin (BTC) 現物ETFの承認ニュースにより、BTCだけでなくEthereumの価格も上昇しており、Ethereumの派生銘柄であるETCも影響を受け、価格が高騰していると考えられます。

Arbitrum : ARB

注目ポイント：先週と同様の要因に加え、Arbitrum初のネットワーク上でレイヤー3が稼働

先週のレポートで注目された点は、イーサリアムの開発が順調に進んでいること、そしてイーサリアムの共同創設者であるビタリック・ブテリン氏の影響力が大きいことです。さらに、**Arbitrumの将来のアップデートへの期待も高まっています**。これらの要因が、Arbitrumの価格上昇に貢献しているようです。加えて、注目すべきニュースとして、Arbitrumネットワーク上で開発された最初のレイヤー3ネットワークであるXai (XAI) が話題となっています。Xaiは、Binance Launchpoolの43番目のプロジェクトとして、1月9日にBinanceグローバルで上場を果たしており、ARBの価格上昇にもさらなる追い風になっていると見られています。

Mantle : MNT

注目ポイント：レイヤー2としての実績の積み重ね、新機能リリース、さらなるアップデート「v2」への期待

Mantleは、アクティブなレイヤー2ネットワークとして注目されており、総価値ロック (TVL) で8位、資金 (トレジャリー) で1位にランクされています。トークン価格は最高値を更新し、ピーク時のトランザクション数 (TPS) はイーサリアムの約14倍にあたる200TPSを記録しました。また、144の分散型アプリケーション (DApps) を有し、昨年7月のメインネットリリース以降、急速に成長を遂げています。

昨年12月リリースされた「**Mantle Liquid Staking Protocol (LSP)**」により、Mantleによって管理されるETHリキッドステーキングプロトコルが実装されました。これにより、Mantle LSPはETHをステーキングする新しい方法を提供し、安全性、使いやすさ、そして高いリターンの可能性を提供することで、市場で競争力のある選択肢となります。多くの取引所にこのプロトコルが導入されることで、mETH (Mantle Staked Ether) が広域に流通し Mantle経済圏の拡大が期待されています。

2024年も多くのアップデートに関する提案が行われており、「Mantle v2」の実装に関する多くの議論が取り交わされておりあります。

レイヤー2を含む、Ethereum関連銘柄への期待に関する解説




Bitcoin (BTC) 現物ETFの承認されたことに続き、イーサリアム (ETH) の現物ETFも申請されています。この動きは、ビットコインに続き他の実績のある暗号資産もETFとして承認される可能性があることを示唆しており、直近で予定されるイーサリアムのアップデートにより、さらなるレイヤー2 (L2) 技術への需要への期待が派生しています。

CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

狙い目：中堅銘柄・新規銘柄 発掘ガイド 1/11

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅・新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。一つ目は、Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。二つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄を対象に、時価総額ランキングで50位から200位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#150	 Threshold	Bitcoin Ecosystem	¥46,963,977,933	¥4.93	--	#62	▲18.51%
#163	 Waves	Platform	¥41,289,989,952	¥368.99	49.84倍 (SOL比)	#123	▼4.06%
#197	 DAO Maker	Launchpad	¥29,979,120,473	¥172.90	--	#303	▲15.30%

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

Threshold : T

注目ポイント：tBTCプロトコルのトータルバリューロック（TVL）の増加

Thresholdは、Solanaベースのトークン化されたBitcoin（BTC）であるThreshold BTC（tBTC）やTステーキング、流動性提供など、分散型アプリケーション（DApps）をサポートするサービスを提供するDeFiエコシステムおよびDAOとして機能しています。**tBTCの利用資産が、2023年2月初旬の約645万ドルから、現在は約6100万ドルにまで増加しており、需要が拡大しています。また、BTC現物ETFの承認イベントにより、tBTCに関する需要も高まっている**という見方もできるでしょう。

Waves : WAVES

注目ポイント：レイヤー2ブロックチェーンの実装への期待

2016年よりプロジェクトがスタートしていますが、時価総額ランキングは年々下がっており、現在160位に位置しています。現在もアップデートがあるようですが、業界メディアが話題にすることは無いようです。毎週開催されるファウンダーのAMAでは、2024年第1四半期はレイヤー2ブロックチェーン「Units」を導入に注力し、その後大規模なマーケティングキャンペーンにより、複数のDeFiプロジェクトやAIプロジェクトなど様々なプロジェクトをレイヤー2ブロックチェーン上でリリースするとのこと。その導入における中間アップデートであるWaves 1.5のリリースが直近で予定されておりますが、昨年12月上旬では、年内リリースとのことで多少遅延しているようです。

DAO Maker : DAO

注目ポイント：有名プロジェクトの資金調達サポートによりプラットフォーム需要拡大

DAOMakerは、様々なプロジェクトの資金調達をサポートするIDOプラットフォームです。このプラットフォームでは、DAOMakerの独自トークン「DAO」を持っていることが、資金調達プロジェクトへの出資を行う参加権を得るための条件となっています。つまり、魅力的なプロジェクトが資金調達を行う際には、そのプロジェクトに参加したいと考える投資家たちによって「DAO」トークンの需要が高まります。このシステムによって、DAOMakerはプロジェクトの資金調達を効率的にサポートし、同時に自社のトークン価値も向上させています。特に直近では「Magic Square」のトークンセールが準備されており、9,722名のユーザーが参加権を獲得し2,400万ドルの入金が集まっているようです。Magic Squareは、Bybitへの上場が決まっており、出資者には、Binance LabsやHuobi Venturesなどの有名企業が名を連ねているプロジェクトとなります。

中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲5.83%となっております。



話題の銘柄ピックアップ

このピックアップは、通常の週次レポートではない今週だけの特別枠となります。

#100	Ethereum Name Service	DAO	¥84,412,428,719	¥2775.05	--	#35	▲41.59%
------	------------------------------	-----	-----------------	----------	----	-----	---------

Ethereum Name Service : ENS

注目ポイント：Ethereumの創設者であるButerin氏の発言による影響

イーサリアム創設者のButerin氏は、2024年1月3日にENS（Ethereum Name Service）をより手頃な価格でレイヤー2ネットワークを含め全ユーザーが利用できるようにする必要性をSNSで強調しました。ENSは、複雑な英数字のウォレットアドレスを簡単な名前に変換するサービスで、イーサリアムの重要な部分です。このサービスをレイヤー2ネットワークに適用することで、使いやすさとイーサリアムエコシステムの拡張性が向上します。今回は同氏の発言が、トークンの市場価格に顕著な影響を与えたものと考えられます。

CMC新規リスト銘柄：調査日 1/11

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	リスト 日時
1/5~1/11現在に新規リストアップされた銘柄の中で、時価総額ランク50-200位に該当する銘柄無し。							

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>